中日新聞3月2日（金）「小牧ワイナリー視察　南ア一行、障害者作業見学」

記事：障害者が働く小牧市野口のワイン醸造所「小牧ワイナリー」に一日南アフリカ・ハウテン州の社会開発担当大臣ニャメカ・ナンディ・マヤトゥラ・コザさん（五六）ら十人が視察に訪れた。一行は七泊八日の日程で日本に滞在。障害者の自立支援や就労を後押しする付加価値の高い商品づくりの現場を理解し、南アでの実現を目指すための参考にする。

　南アにも作業所はあるが、利用者の賃金は低く、単純な仕事が多い。社会福祉法人「AJU自立の家」（名古屋市昭和区）が運営する小牧ワイナリーは、利用者三十五人がブドウ栽培とワイン醸造に関わり、カフェも併設するなど農作物の価値と創造性を高めている点が注目された。

　視察団は畑や醸造所を見て回り、作業場では利用者がボトルにラベルを貼る様子を見学した。南アはワインの醸造が盛んで、熱心な質問が飛び交った。

　ワインを試飲したマヤトゥラ・コザさんは「とてもおいしい。取り組みもユニークだ」と評価した。

　視察後、一行は常滑市の中部国際空港でAJUが関わったトイレなどのバリアフリーデザインも確かめた。